



ナッジ理論に基づく慢性腎臓病 早期受診勧奨

企画提案 i-スマ会員

名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター
株式会社PREVENT

CKDは早期であっても医療経済的なインパクトは大きい



図：早期慢性腎臓病と医療費増加の関連

慢性腎臓病が無い状態と比較して、早期の慢性腎臓病所見（腎機能低下[推定糸球体濾過量30-59 mL/min/1.73m²]、尿蛋白陽性[試験紙1+以上]）がある場合に、年間で、どれだけ医療費が増加するか（超過医療費）を推定。

- 透析医療は年間1人あたり500万円
国保加入者で透析数
- → $5,000,000 \times \underline{750人} = 37.5\text{億円/年}$
- 国民健康保険加入者6万人として、
CKDは1/5人であり、12,000人と推計
- → $187,000 \times 12,000 = 22.4\text{億円/年}$

科研費 KAKENHI

プロジェクトの概要とアクションプラン

- 産学官連携に基づくCKDの受診勧奨を通じて慢性腎臓病診療の向上を目指すプロジェクト
- 研究の中心は「CKD受診勧奨に対するナッジ理論の有効性を地域医療で実証する」こと
- プロジェクトを実施するにあたっての下準備を含めて4か年計画での実施を検討している

初年度

現状分析と
下準備

2年目以降

受診勧奨の
実施

最終年度

効果の検証

アクションプラン

- 医師会の先生方へのご説明
- 薬剤師会の皆様へのご説明
- 現状分析のためのヒアリング
- 市民病院の連携フロー見直し
- 人材育成
- 啓発活動への参画

- 連携先協力機関選定
- 通知対象者の決定
- 通知方法の検討
- データ抽出と加工
- 受診勧奨通知の送付

- 事業内容に関する結果報告
- 関係機関からのフィードバック
- 課題抽出
- 効果検証結果の公表

本格運用(イニシャル + ランニング)

通常の通知

『慢性腎臓病』の疑いがあるので医療機関の受診をおすすめします
かかりつけ医の先生がいる場合、よく相談してください

腎機能が低下する可能性があります
本通知と健診結果を持参して医師とご相談ください

腎機能の障害	尿検査		腎機能悪化の危険因子
	尿タンパク ±以下	尿タンパク +以上	
eGFR 60以上 ◎			高血圧 有
eGFR 45-59 △	52.3		糖尿病 無
eGFR 45未満 ×			喫煙 無

健診受診日 年 月 日

eGFR 60ml/min未満あるいは尿タンパク+以上は腎機能障害の可能性があり、eGFR値はCKD-EPI推定式を用いて血清クレアチニン、年齢、性別より再計算しています。健診結果の数値と多少前後することがあります。腎機能の障害が無くても、危険因子によって今後腎機能障害を引き起こす可能性があります。高血圧(血圧140/90mmHg以上、あるいは服薬中(問診票より))、糖尿病(HbA1c6.5%以上、あるいは服薬中(問診票より))、喫煙(喫煙中(問診票より))

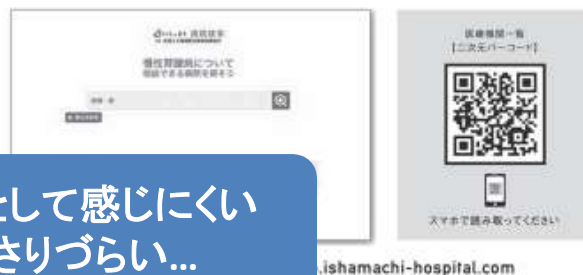
『慢性腎臓病』によって
心筋梗塞や脳卒中を起こす
危険性が高まります

腎機能が低下して腎不全になると
透析治療が生涯必要となります

裏面をご覧ください

かかりつけ医に相談、あるいは医療機関を探して受診しましょう

二次元バーコードのサイトで検索すれば、お近くの医療機関で慢性腎臓病を診てくれるところを簡単に見つけることができます。



自分事として感じにくい
→刺さりづらい...

ナッジ型の通知

早期に受診しないと
心筋梗塞や脳卒中などの合併症を
予防できるチャンスを失います

腎不全に進行してしまうと
透析治療のため、週3日間・半日ずつ
仕事を休まないといけません



損失回避の
心理を刺激



裏面をご覧ください

かかりつけ医に相談、あるいは以下の手順で受診しましょう

■ 出来たらチェック

二次元バーコードのサイトで検索すれば、お近くの医療機関で慢性腎臓病を診てくれるところを簡単に見つけることができます。

Step 1 医療機関を探す

Webサイトアドレス: <https://dokenpo.ishamachi-hospital.com>

■ 出来たらチェック

Step 2 予約する

医療機関に電話して、直接予約してください。

【病院名】 【受診日】 月 日 (曜日) 時 分

Step 3 受診する

自分で結んだ約束を守る心理
(コミットメント)